9/13 朝日

岸田内閣支持 最低41%

不支持47% 初めて逆転

本社世論調査

朝日新聞社は10、11の両日、全国世論調査（電話）をした。岸田文雄内閣の支持率は41%で、前回8月調査（27、28日実施）の47%から続落。不支持率は39%から47%に増え、初めて不支持が支持を上回った。

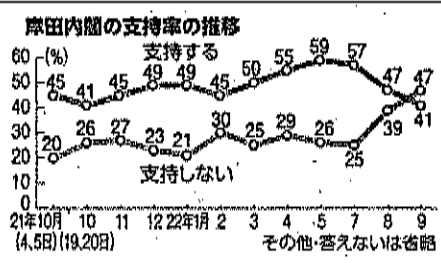
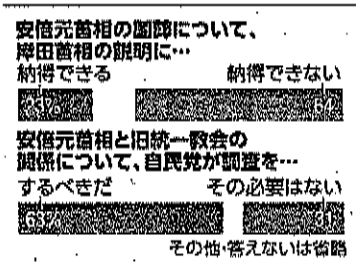
▼3面＝説明裏目、4面＝質問と回答、29面＝札幌五輪覚書割れる

国葬説明「納得できぬ」64%

参院選直後の7月調査で57%あった内閣支持率は2カ月で大きく下落。今回は昨年10月の衆院選公示に合わせた調査と並び、過去最低となった。

国葬の賛否は8月の「賛成41%・反対50%」から、「賛成38%・反対56%」へと賛成が減り、反対が増えた。国葬に関する首相の説明には「納得できない」が64%で、「納得できる」23%と大差がついた。

国葬賛否それぞれの理由を3択で聞いた。賛成の人は、そのうち66%が「安倍元首相の実績を評価している」を選んだ。「最も長く首相をつとめた」が17%、「選挙中に銃撃され、亡くなった」が13%だった。反対の人は、うち68%が「国の予算を使うから」を挙げた。「実績を評価していない」が20%、「旧統一教会との関係が指摘されている」が19%だった。

政治家と旧統一教会の問題への首相対応を「評価する」は8月の21%からほとんど変わらず、23%と低いまま。「評価しない」も66%と高止まりしている。

自民党の政治家が旧統一教会との関係を断ち切れるかどうかは「断ち切れる」12%、「断ち切れない」81%と、8月の16%対76%より見方が厳しくなった。安倍元首相と旧統一教会の関係について自民党が調査をするべきか聞いたところ、「調査をするべきだ」63%、「その必要はない」31%だった。